



# LAZONA<sup>ラゾーナ</sup> 藤尾歴史散歩

藤尾学区まちづくり協議会設立準備委員会 歴史文化部会



## 第5回 小関越道標と喜一堂

【小関越道標】



●小関越道標（現下横木東町）

小関越えの道は、京都山科と大津を結ぶ道の1つで、浜大津を經由せずに旧東海道から北国海道へ抜ける近道でした。小関越は、大関越え（逢坂山の関）に対する間道でもありました。

大津市横木一丁目の旧東海道から小関峠への分岐点に設置されているこの道標は、北国海道三井寺観音堂への道を示すもので、文政5年（1822年）に大阪・江戸・京都の定飛脚問屋が建立したものです。峠道を示す道標で、これだけ大きくしかも完備したものは他になく、いかに小関越を利用した人々が多かったのかがうかがえます。

小関越えは旧東海道から北国海道へ抜ける近道

【喜一堂】

小関越えの峠を往来する人々の安全を祈って地藏尊を祀った、峠の小さなお堂です。昭和年代に、大津市横木の故松井喜一氏が、付近に散在していたお地藏さんを集めて祠を建てられたものです。近年は日本各地からもお参りに訪れる人があり、近隣の人たちが自発的に清掃管理されています。（文・松井佐彦）



●小関越 喜一堂（現小関町）

～余話～

喜一さんは明治43年生まれの鉄工所の職人さん。70歳を過ぎたある夜、夢の中にお地藏さんが現れた。次の日探しに行くとなんと！夢に見たお地藏さんが！これが喜一堂建立の始まり。大のお酒好き「きいっちゃん」は90歳になっても朝早く自転車で峠に通い喜一堂へ。毎年8月の地藏盆には藤尾と長等の人たちが一緒になって盛大におまつりを続けましたとさ…（息子さん談・歴史文化部会）

バックナンバーご希望は市民センターまで

